



「伝統と実績の100周年。未来へつなぐ愛情教育」  
2018年 駿台は創立100周年を迎えます

新聞社・通信社  
教育担当各位

2017年5月9日  
学校法人 駿河台学園 広報部

英語4技能試験利用型入試に対応  
駿台現役生クラスで新サポートシステム  
バイリンガル・インストラクターによる Speaking Training 開始

駿台予備学校では、本校に通う現役生を対象に昨年度一部校舎で実施していた「バイリンガル・インストラクターによる Speaking Training」のサービスを、本年度からは首都圏と関西地区の複数校舎に拡大して展開いたします。

Speaking 力を強化していくには、実戦的な練習の場が欠かせません。駿台の集団授業で習った事柄を Speaking Training で実際に声に出し使ってみることにより、相乗効果的に英語力を鍛えていくことができることから、4技能においてバランスのとれた英語力が求められる生徒達にとって大変有益なシステムと言えます。また、生徒が立ち向かっているハードルに対し適切なアドバイスをし、Speaking 力を伸ばしていくその過程を伴走することができるのは、英語・日本語の両方を習得する過程を経た、バイリンガル・インストラクターです。

2020年度からの新テストにおける「英語4技能試験」の採用に先立ち、個別の大学においても英語4技能試験利用型入試の導入が広がっており、英検や GTEC CBT、TEAP などの資格試験にチャレンジする生徒も増えております。英語4技能の中で最も準備が難しいと言われる Speaking 試験への対策として「Speaking Training」は注目されております。

【バイリンガル・インストラクター(BI)とは？】

駿台グループの帰国生大学受験の専門部署である駿台国際教育センターの卒業生達を中心です。海外滞在経験が長く、高度な英語のコミュニケーション能力を保持しています。採用試験を経て、駿台予備学校講師による指導研修を経たインストラクターが Speaking Training を担当します。

【本件のポイント】

- 英語4技能試験対策として別途英会話学校などに通うのではなく、通常の現役生クラスの受講生が活用できるサポートシステムとして設置。
- 英語4技能試験の Speaking 対策に加えて、時事的なテーマのディスカッションを通じ「英語で発信する力」を強化
- 文科省は、グローバル化に対応するため、新テスト「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の英語は、「話す・書く・読む・聞く」の4技能を総合的に測る方針。民間の英語4技能試験を活用し、当面は現行のセンター試験における R、L2 技能の試験も併存させ、将来的には4技能すべてを民間試験に一本化する方針。

本件に関するお問い合わせは、駿河台学園広報部(担当:中村)までご連絡ください。

(学)駿河台学園 広報部  
TEL 03-5259-3231  
FAX 03-5259-3057  
E-Mail [public-s@sundai.ac.jp](mailto:public-s@sundai.ac.jp)